

新春映画と「M1-H緑」！

JSC 貿易部ニュース インド編

新年明けましておめでとうございます。

旧年中は格別のご愛顧を賜り誠にありがとうございます。

本年もどうぞ宜しくお願い申し上げます。

さて、新春の今月 20 日から日本でも公開される、とある映画をご存知でしょうか……？
世界中、様々な映画祭で観客賞を受賞している話題作です！

それは、本年度のアカデミー賞国際長編映画賞インド代表にも推薦されている『エンドロールのつづき』という映画です。

英語名は『Last Film Show (Chhello Show)』です。

インドでも、もちろん大人気でした。

すでに Netflix でも視聴可能となっていて、インドのネットニュースでも話題になっています。



ストーリーはと言いますと、インドの田舎で育ったチャイ（インド式の甘く煮出したミルクティー）売りの少年が映画と出会い、やがて世界で活躍する映画監督になるという、実話のサクセスストーリーです。

インドであの甘いチャイを飲んだことのある方は、映画の中のチャイ売りの少年を見ると、懐かしく感じるかもしれませんね！

日本ではあまり知られていませんが、この作品、世界的に有名なインド出身のパン・ナリン監督自身の人生を映画化したものです。

子役のチャイ売りのこの少年はなんと 3000 人の中から選ばれたそうです。オーディションの規模も大きいですね。さすが、今年には人口世界一になると予想されているインドです。



美味しそうなチャイです～

弊社のインドの取引先の方もこの映画を観たようで「とても感動しましたよ～！！」とおっしゃっていました。私も観に行く予定です(^)



作中には、インドの様々な風景や街並みも出てきます。

インドへ行ったことがある方もない方も、インド産の石を一度でもお取り扱いになったことがある石材店様なら、全員インドにご縁がある方です(^)

もし少しでもこの映画にご興味ありましたら劇場に足をお運びくださいませ～！！

いやあ～、映画って本当にいいものですね～ (^)

さて今月の石のお話！

「M1-H緑」と言えば、インド産の墓石材の中でも大人気の石種ですが、丁場は数ヶ所あり、同じ「M1-H」でも細目から中目まで粒子の大きさにも様々差があります。

その中でも最も緑色が強く、目の細かい原石が採掘される丁場の石を中国の工場では他の一般的な中目の「M1-H緑」と区別して、「太陽鉦」丁場の石と呼んでいます。



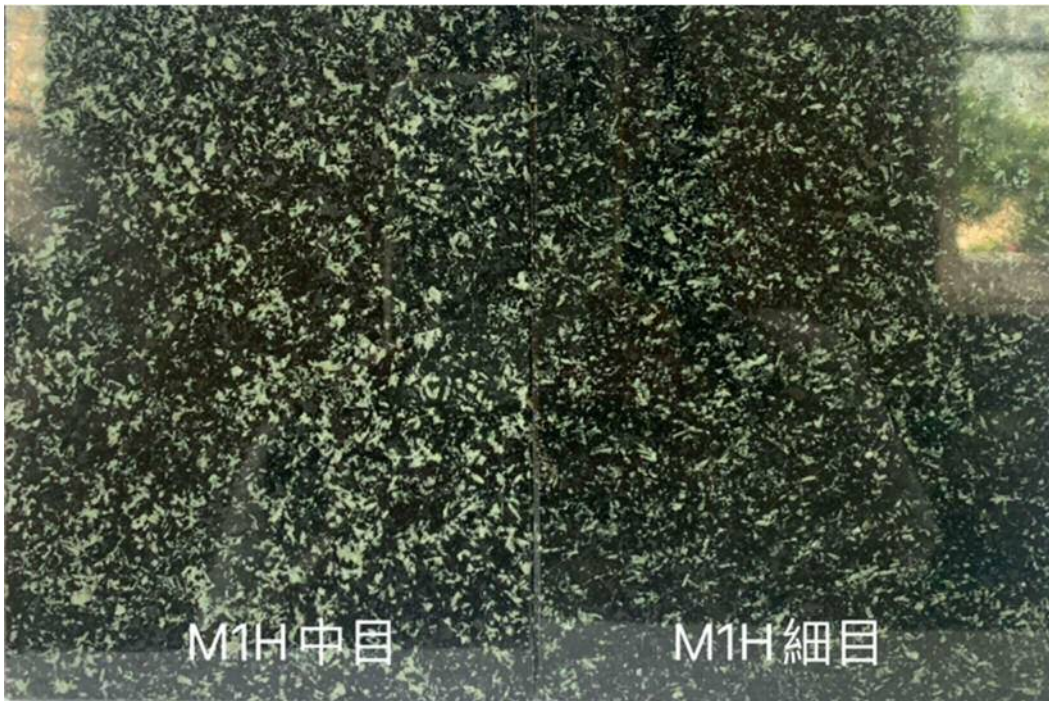
丁場から採掘されたばかりの「M1-H緑・太陽鉦」の原石です。

原石に「SUN（太陽）」の「S」と共に太陽のマークがペイントされていますね。



このお日様マークから、中国では「太陽鉦」と呼ばれています。

弊社の中国のパートナー工場にはそんな目細、濃手の「太陽鉦」の原石が60数m³あります。目の細かさ、色の深さから、工場が独自に「緑庵治」という名前を付けているくらいの綺麗さです。



一般的に、「M1-H緑」の原石サイズは小さいものが多いのですが、弊社のパートナー工場には 8 尺の長さが取れる原石があります。5X4 尺の天板にも対応可能なストックもあります。量、サイズともに他の工場にはない水準です。



本来、「太陽鉦」丁場の原石は、他の「M1-H」の原石よりも価格は高いのですが、現在当工場では、一般的な「M1-H」より少しお高いくらいのお値打ち価格でご案内しております。是非、一度お試してください。

インド緑系によくあるムラも少なく無く、きれいです！

今後、「M1-H緑」の引き合いがございましたら、是非検討、ご用命くださいませ～！

今月も最後までお読み頂きありがとうございました。

厳しい寒さが続きますのでどうかご自愛くださいませ。

本年も変わらぬご愛顧のほど、どうぞよろしくお願ひ申し上げます。

2023 年 1 月 1 日